

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	令和元年度瑞穂町子ども・子育て会議（第5回）	
開 催 日 時	令和元年11月26日（火）午後6時30分から午後8時30分まで	
出席者及び 欠 席 者	<p>【出席者】委員9名、事務局3名、子育て応援課1名、社会教育課推進係2名、委託業者2名 合計17名</p> <p>【欠席者】委員3名</p>	
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）現行の子ども・子育て支援事業計画の進捗状況管理</p> <p style="padding-left: 20px;">（2）新・放課後子ども総合プラン 瑞穂町行動計画（素案）について</p> <p style="padding-left: 20px;">（3）第2期 子ども・子育て支援事業計画（素案）について</p> <p>3 事務連絡</p> <p style="padding-left: 20px;">（1）今後のスケジュールについて</p> <p>4 閉 会</p>	
傍 聴 者	2名	
配 布 資 料	<p>当日配布 ・次第</p> <p style="padding-left: 20px;">・新・放課後子ども総合プラン 瑞穂町行動計画（素案）</p> <p style="padding-left: 20px;">・第2期 子ども・子育て支援事業計画（素案）</p>	
会 議 内 容 （主な意見等 を原則として 発言順に記載。）	<p>1 開 会</p> <p>2 議 題 （事務局）</p> <p>（保育・幼稚園係長）</p> <p>（子育て応援課長）</p> <p>（保育・幼稚園係長）</p>	<p>瑞穂町子ども・子育て会議条例第7条の規定に基づき、委員の半数以上の出席により、会議は成立。</p> <p><u>（1）現行の子ども・子育て支援事業計画の進捗状況管理</u></p> <p>令和元年9月末現在の進捗状況について説明する。</p> <p><u>計画の基本的事項</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童4名（11月1日時点）。 ・学童保育クラブ対象入所申込保留児童数2名（11月1日時点）。 ・今期から実施の夏季限定サマー学童保育クラブ入所者数46名。 ・P6に夏季限定入所について記載している。 ・待機児童は直近で2名いるが、記載時には0人だった。 ・今年度10月から幼児教育・保育無償化に伴い、3歳から5歳までの保育料が無償となった。

		<ul style="list-style-type: none"> ・無償化に合わせて、ファミリー・サポート・センターの利用料も一部無償となった。
		<p><u>保育園等について</u></p>
(委員)		<p>来年度、現行にある保育所等についての増設や格上げ、定員等はどのようになっているか。</p>
(保育・幼稚園係長)		<ul style="list-style-type: none"> ・来年度4月、認証保育所（ぴよぴよハウス）が1園、認可保育園（ぴよぴよ保育園）に移行予定。 ・定員を28名から36名に増員する。
(委員)		<p>移行にあたり、保育士の増員など基準は満たしているのか。</p>
(子育て応援課長)		<ul style="list-style-type: none"> ・ぴよぴよハウスは、一部資格のない方がいるが、基本的に保育士がいるため、基準は満たしている。 ・追加として、募集をかけて保育士が入る予定であると聞いている。
(委員)		<p>2歳児から3歳児クラスへの移行計画状況はどのようになっているか。</p>
(保育・幼稚園係長)		<p>小規模事業保育所から認可保育所、認定こども園へ、保護者の希望する園にスムーズに移行できている。</p>
(委員)		<p>時間外保育事業の運営や料金はどのようになっているか。</p>
(子育て応援課長)		<p>第2回配布資料と保育園入所申込のしおりに記載している。</p>
(委員)		<p>働く女性が増えており、長時間預かってもらうことが必要になる場合もあると思うが、時間延長等はどのように考えているか。</p>
(保育・幼稚園係長)		<p>午後7時まで預かっているが、南平保育園など一部では午後8時まで預かっており、その中で対応している。</p>
(子育て応援課長)		<ul style="list-style-type: none"> ・保育士のシフトを組むことも難しい現状である。 ・認証保育所は午前7時から午後8時までと決まっているため、認定こども園に移行した南平保育園には時間を短縮しないように動いてもらっている。 ・長時間働く方にはそのような園を選んでもらいたい。
(委員)		<p>保育士の確保について、町で負担するなど対応できないか。</p>

	<p>(子育て応援課長)</p> <p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p> <p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p> <p>(事務局)</p> <p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p> <p>(委員)</p>	<p>国や東京都の補助制度等が利用できるものなど、検討していきたい。</p> <p>補助があっても、実際に働く人が利用できないこともあると思うが、改善はできないか。</p> <p>資料等を提出し補助金申請するため、そのような部分も確認しながら進めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター提供会員は活用できないか。 ・人手不足の保育園に手伝いとして行くことで、提供会員の研修等の場になる。 ・提供会員の中には資格保有者もいるので、職場復帰につながる。 ・ファミリー・サポート・センターにも伝えたいと思う。 ・学童保育クラブでも人手不足の問題があり、夏季限定入所で慣らしてもらうのもよいと思う。 ・子育て支援員研修では資格を持たない方が、実際に保育園で研修を行うので、そのようなことも案内していきたい。 <p><u>計画の体系（第1節から第2節）</u></p> <p>主な変更点について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 1 民生委員等の活動支援 ・ P 3 子育てひろばの拡充 ・ P 1 0 予防接種率の向上 <p><u>子育てひろばについて</u></p> <p>子育てひろばは、児童館で実施の事業か。 そのとおり。</p> <p><u>グループ活動支援について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康課のゆりかごステーションでは、妊娠から出産後6か月まで、プチママやプレママという集まる機会があるが、離乳食教室や1歳半健診等を終わると、集まる機会がなくなってしまう。 ・積極的な支援策があれば、自然とグループをつくりやす
--	--	--

	<p>(子育て応援課長)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員)</p>	<p>くなるのではないかと思います。</p> <p>声をかけてもらえれば施設は使用できるが、どこが窓口になるかについては検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習団体は社会教育課で登録が必要であり、メンバーの3分の2以上が町内在住であることや規約があることなどを要件としている。 ・登録するハードルが高く、グループも増えないと思うので、ハードルを下げたり、違う形にするなど検討してもらいたい。 ・3歳から保育無償化になるため、2歳から入園させる親が増えてしまい、わんぱくクラブの人数が減少した。 ・2歳から入園した中で既にグループができてしまっているところに3歳から入園するのでは、子どもも親も不安であるという話を聞く。 ・健康課の事業であるプチママは、助産師が来るので相談ができたり、とても良かった。 ・プチママは参加に限りがあり、参加できない人が参加できるような同様のものがあるとよいのではないか。 <p>プチママは、助産師、保健師、サポーターなどがいて、小さなことでも相談できるなど対応が丁寧。</p> <p><u>移動児童館について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は夏休みに、武蔵野・元狭山・長岡の3か所のコミセンで、20日間、午前10時から午後4時まで実施した。 ・長岡コミュニティセンターはチラシ等で宣伝したが参加者が少なかった。 ・学校から遠いため、学校の目の前にある長岡会館を利用できるように検討してもらいたい。 ・コミュニティセンターでの移動児童館ではなく、場所は柔軟に対応してもらいたい。 <p><u>病後児保育について</u></p> <p>近隣自治体では実施しており、実施していないのは町だけのため、実施が難しければ代替策など、検討</p>
--	--	--

	<p>(子育て応援課長)</p> <p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p> <p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p> <p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p> <p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p> <p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p>	<p>してもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あきる台病院は3市町村で病児保育を実施している。 ・武蔵村山市が町民の入る枠を空けてくれるという話はあったが、補助金は1施設につき1市町村にのみ交付であり、その場合は武蔵村山市が交付を受けるといったことだった。 ・病院内にあればいいが、小児科の病院がないこともあり、検討が必要である。 <p><u>待機児童について</u></p> <p>町の待機児童とは、自宅から通える場所がない場合か。自宅から通える場所だけを選んでいて待機となる場合も含まれる。</p> <p>定員を増加しても、場所によって通えない場合があるが、入園希望のニーズと定員増加のニーズは合っているのか。</p> <p>待機児童は、ある地区に固まることはなく、分布している。</p> <p>時間内保育を利用したい場合は、駅の近くにあるびよびよハウスしかない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短時間は午後4時30分までだが、標準時間は午後6時30分。 ・短時間と標準時間の金額差は100円から200円ほどであるので、仕事等で間に合わない方には標準時間を案内している。 <p>認可保育園で行けるところがないため、電車通勤の人にとっては厳しい。</p> <p>ひじり保育園の耐震の問題に対応しており、他園からも同じように要望が来ているが、費用がかかることから順番に対応している。</p> <p>建て替えに合わせて枠も増やせないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や東京都で待機児童対策として補助金が出るため、枠を増やすことも必要だが、児童人口も減少している中で新設するのは難しい。 ・建て替え時や、認定こども園への移行などで増枠してい
--	---	--

	<p>(委員) (子育て応援課長)</p> <p>(委員)</p> <p>(委員) (子育て応援課長)</p> <p>(委員)</p> <p>(事務局)</p>	<p>で調整して動いていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育課には放課後子ども教室実行委員会など行ってもらっており、子育て応援課から学童へ丁寧に説明、少しずつすり合わせの作業を進めていかなければならないと思う。 <p>これまですり合わせはあったのか</p> <p>具体的にはなく、NPO法人(学童)に話しているが、そこまでの意識を変えられてはいないと思うので、変えていかなければと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下校時に学童と放課後子ども教室のどちらに行けばいいのかわからない場合など、不安に思って泣いてしまう子どももいる。 ・学校からの出発になるので、学校の方にも情報をいただき、情報共有ができるとよいのではないかと。 <p>この会議で話していても事務局の動きを追うことはできず、放課後子ども総合プランという形なので、社会教育課も子育て応援課も率先して進めないと変わらないと思う。</p> <p>学校にも協力いただくことになるので、やはりすり合わせの作業が必要である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的に見ていくということで、学校から学童まで行くところも含めて放課後なのではないだろうか。 ・放課後になって子どもが行き着かない部分のフォローを、ボランティアや、シルバー人材センターに依頼するなど、今後の課題とした方がよいと思う。 <p><u>計画の体系(第4節、第5節)</u></p> <p>主な変更点について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P29 チャイルドシート使用の徹底 <ul style="list-style-type: none"> 30年度と31年度の目標3行目、「実施」の文字が欠けている。 ・P30 防犯に配慮した公共施設等の整備管理 ・P33 日常生活の援助 ・P34 発達障害等支援の充実
--	--	--

	<p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p>	<p><u>ユニバーサルベッド設置について</u></p> <p>前回質問した、新庁舎へのユニバーサルベッド設置はどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置はなく、今から設置することはできない。 ・町民会館に、オストメイトとおむつ替え台が設置されている。
	<p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p>	<p><u>ニーズ調査の自由意見について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題として保護者同士での自主運営とあるが、ニーズ調査で、同じ悩みを持つ親と会えず、どうしたらよいか分からないという自由意見があった。 ・自主グループは活動自体があまりなく、人が集まったらボランティアセンターが活動の手伝いをするが、最初のきっかけは母親たちがするという事だった。 ・試しにサロンを実施し、人が集まるようだったら事業として実施してみてもどうか。 ・設定した課題は次の目標になると思うが、ニーズ調査で出た自由意見を検討することを載せても良かったのではないか。 ・自由意見はどのように活かされていくのか。
	<p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p>	<p>検討や研究はしているが、計画に具体的に記載することは難しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議に参加しているから検討していることが分かるが、参加していなければ、この会議でニーズ調査の回答を話し合っていることも分からないと思う。 ・回答が検討されているのか経過を知りたいと思うのではないか。
	<p>(委員)</p> <p>(子育て応援課長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査報告書に自由意見を抜粋して掲載しており、公園の新設として、二本木公園の新設、遊具の更新、ミストの公園が設置された。 ・幼稚園・保育園の拡充として、園が増設された。 ・通学路について、PTAが集まり点検を行った。 ・要望に対応しているが、PRできていないところもあるので、委員の皆さまにも広くPRしていただきたい。
	<p>(委員)</p>	<p>回答をホームページ等に掲載できないか。</p>

	<p>(社会教育課 推進係主事)</p> <p>(委員)</p> <p>(社会教育課 推進係主事)</p> <p>(委員)</p> <p>(社会教育課 推進係主事)</p> <p>(委員)</p> <p>(社会教育課 推進係主事)</p> <p>(委員)</p> <p>(会長)</p> <p>(社会教育課 推進係主事)</p>	<p>そのとおり。</p> <p>障がい児受入加算補助とは、学童と放課後子ども教室の両方か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都の補助金要綱により、放課後子ども教室に適用される制度となっている。 ・障がい児受入加算補助を受けるためには、東京都の指導に従い、客観的な資料が必要となる。 <p>学童に関する項目も多いが、放課後子ども総合プランとしての計画のため、社会教育課がまとめるということか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室を管轄する文部科学省から、学童保育クラブと放課後子ども教室を一体型として、社会教育課が定めるように通知があった。 ・内容は子育て応援課に照会して作成した。 ・以前のプランでは、学童と放課後子ども教室のスタッフが協力し、合同イベントのようなものを年数回実施するというニュアンスが強かったと思う。 ・一部の子どもの参加により、計画の趣旨である、全ての児童の安全・安心に過ごすということに結びつかないのではないか。 ・放課後子ども教室が目指す最終目標は、居場所づくりである。 ・学童は利用料がかかり、枠も限られており、利用料もかからない放課後子ども教室が、子どもを家に残して働くことができない人の受け皿となる。 <p>福生市の「ふっさっ子」、羽村市の「はむらっ子」のように、多くの子どもが安全な場所を使えるプランで合ってほしいので、検討してもらいたい。</p> <p>行動計画というと具体的な数値を記載すると思うが、資料は理念のようであり、どのような位置付けなのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理念である。 ・具体的な数値目標の検討までは不要というのが、文部科学省の通知内容である。 ・その他、前回会議で委員から質問があった図書室開放について、第三小学校であれば、授業の有無、図書館司書
--	--	---

	<p>(事務局)</p>	<p>の業務、委員会やクラブ活動等に支障が無く、スタッフの見守りがあれば使用できるようである。</p> <p><u>(3) 第2期 子ども・子育て支援事業計画(素案)について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目次のとおり、現行計画と構成を変更した。 ・ 第5章と第6章は、町の現状や今後の見込み、委員の皆さまの意見等を参考に、担当各課で修正作業を行っているところである。 ・ 次回会議で、全体の修正を行った素案をお示しする。 <p>確認していただきたい事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P 6 6 第4章の基本理念 <p>現行計画を継承させ、文言変更を行った。本計画の上位計画である、瑞穂町地域保健福祉計画の理念からかけ離れないようにした。</p> ・ P 6 7 教育・保育提供区域の設定 <p>地図上にある保育園等の名称は次回までに修正する。第1期と同様に、町全体を1区域とし、どの地区でも教育・保育施設を利用できるようにしたいと考えている。</p> ・ P 2 0 ランドセル来館事業 <p>現行計画に記載しているが、平成27年度以降は事業実施していないため、第2期計画では削除したい。</p> ・ P 5 7 事業実績値 <p>(1) はP 5 7 に事業説明と実績値を記載しているが、(4) はP 6 0 に事業説明、P 6 3 に実績値を記載しているため、一つのページで見られるように修正する。</p> <p>次回会議までに、再度全体を修正した素案を事前送付するので、ご意見と承認をいただきたい。</p>
--	--------------	--

